

5・4 輸出入・港湾諸手続の簡素化

5・4・1 貿易関連手続きの一層の円滑化

「輸出入・港湾関連情報処理センター(株)」(通称:NACCSセンター)によって運営されているNACCS(Nippon Automated Cargo and Port Consolidated System)は、平成29(2017)年10月にシステム更改(第6次NACCS更改)が予定されている。NACCSセンターは、官民の利用者における専門部会やWGにおける検討を経て、平成28(2016)3月、次期NACCSの詳細仕様を決定した。第6次NACCSは、平成22(2010)年2月の航空・海上システム統合や平成25(2013)年10月の関係省庁システム統合後初めての更改であり、これまでで最大規模となる。次期NACCS更改における海上機能の特徴は以下の通り。

【第6次NACCS:海上機能の特徴(NACCSウェブサイトより)】

- (1) 海上物流フローの見直し(最適化)
 - ① 海上における輸出の物流フローについては、荷主による情報入力を最上流とした上で、B/L作成系と通関係の2つの流れに大別し、かつ、荷主が入力する情報と後続業務との情報連携の強化を実現
 - ② 海上における輸入の物流フローについても、荷主による輸入指示情報の輸入申告業務への情報連携を実現
- (2) 港湾におけるシングルウィンドウ機能の拡充
 - ① 港湾サブシステムのNACCS本体の統合等によるシングルウィンドウ機能の改善
 - ② 入出港関連手続きにおけるユーザーインターフェースの改善としてWeb化の導入等
- (3) 港湾手続きにおけるEDI化の推進
 - ① 船腹予約業務、危険物明細書作成業務等のシステム化
 - ② 第5次NACCSから参加している海貨業界の要望を踏まえたACL業務、CY搬出入業務における利便性向上を図るための機能改善

その後、NACCSセンターは、次期NACCS詳細仕様説明会を平成28(2016)年4月から6月にかけて、次期NACCS利用申込等説明会を同年10月から12月にかけて、全国で開催した。さらに、最終機能確認や利用者による業務機能の確認および業務入力の実習等を目的として平成29(2017)7月より「総合運転試験」を実施することとし、同年3月にその説明会を開催した。